

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 206-8566
 住 所 東京都稲城市矢野口4015-1
 氏 名 株式会社よみうりランド
 代表取締役社長 杉山 美邦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社よみうりランド		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区富士見1丁目5-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	N	生活関連サービス業、娯楽業
	中分類	80	娯楽業
主たる事業 の内容	競馬場の施設運営、遊園地の経営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,340	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	2016年度 ～ 2018年度 (報告年度 2018年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 口のある欄は、該当する口内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,632 t-CO ₂ (調) 5,603	(実) 6,508 t-CO ₂ (調) 6,475	(実) 7,056 t-CO ₂ (調) 7,018	(実) 6,796 t-CO ₂ (調) 6,756	(実) 5,465 t-CO ₂
削減率		(実) -15.6 % (調) -15.6	(実) -25.3 % (調) -25.3	(実) -20.7 % (調) -20.6	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	100.0	92.85	108.8	101.0	97.00
削減率		7.2 %	-8.8 %	-1.0 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	省エネ性の高い設備を導入した新規エリアが拡大したことにより、遊園地及びプールの原単位が大きな削減となった。川崎競馬場では、活動量を営業日数としているが、スタンドリニューアルに伴い空調エリアが拡大したことから、原単位が増大した。全事業部の合計は、総排出量が前年比で増大したが、省エネ性の高い設備を導入した新規エリアの拡大が大きく貢献したことにより、原単位が減少した。
第2年度	川崎競馬場は、28年度のスタンドリニューアルに伴い空調エリアが拡大し原単位が増大したが、H29年度は28年度と比較すると空調機更新やLED照明の設置により、搬出係数固定搬出量は2637(t-CO ₂)から2612(t-CO ₂)に減少した。 プールは、H29年度に新イベントのアイススケート開催や噴水装置拡大を実施したことによりH28年度に比べ電気使用料が2061.66(千kWh)から2817.04(千kWh)に増加したが、それらイベント集客人数以上に、夏の長雨の影響等が大きく、集客数が372,597(人)から329,798(人)に大幅に減り活動量が大幅に減少したため原単位が増大した。 7号井戸については、東京都側の他の井戸からの揚水供給により7号井戸の揚水量が基準年度241,100(m ³)から74,400(m ³)に減少したが、待機電力等の割合が大きくなったため、揚水量の減少量ほどは電気使用量が122.37(千kWh)から60.11(千kWh)と減少しなかったため原単位が増大した。
第3年度	川崎競馬場に関して、2018年度と2017年度を比較すると、空調機更新やLED照明設置、こまめに電源の入り切りを実施したことにより、搬出係数固定搬出量は2612(t-CO ₂)から2302(t-CO ₂)に減少した。 プールに関して、2018年度と2017年度を比較すると、イベント会社持ち込みのアイススケート設備や噴水設備がイベントのスケールアップにより設備内容が膨らんだため、搬出係数固定搬出量が1482(t-CO ₂)から1601(t-CO ₂)に増加した。 全体を2018年度と2017年度で比較すると、搬出係数固定搬出量が7056(t-CO ₂)から6796(t-CO ₂)に減少し、原単位の寄与度が7.8%減少した。 総括としては、基準年度から第3年度において、新規導入設備や更新設備を省エネ性の高い設備を採用してきたが、空調エリア拡大や新規イベント等により、搬出係数固定搬出量が5632(t-CO ₂)から6796(t-CO ₂)に増加した。延床面積や入場者数などをCO ₂ 排出量と密接な関係を持つ値に定め、原単位の削減を目標に定めたが、延床面積の変わらない空調エリア拡大や、集客イベントを行ったものの雨などの影響を受け、原単位の寄与度が1%増加した。新規イベントの実施については会社が生き残るために行っており、現場統括管理者や企画推進者が中止を促すことは出来ないが、今後も温室効果ガス削減を考え、引き続き省エネ性の高い設備導入を推進し、空調照明を含めた設備の運用に注意を払っていく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	①照明器具の省エネ化 (蛍光灯等をLEDに更新) ②照明の消灯徹底 ③高効率空調機の導入 ④遊戯機の輪番運転
	第1年度	①遊園地事務所及びゴルフ練習場事務所の蛍光灯が切れた場所から随時電球替え不要のLED照明にを更新した。 ②会議室や倉庫等を中心に使用していない時間の照明の消灯を徹底した。 ③遊園地エリアにおいて高効率空調機 (GHPゼクシオII) を20台以上導入した。 ④遊園地遊戯機ヒューストンを2台同時運転することの無いように輪番運転を実施した。また、電力監視装置において、契約電力を超過するほどの電気使用量予測となった場合には、遊園地全体の輪番運転を実施した。
	第2年度	①遊園地事務所及びゴルフ練習場事務所の蛍光灯が切れた場所から随時電球替え不要のLED照明にを更新した。 ②会議室や倉庫等を中心に使用していない時間の照明の消灯を徹底した。 ③遊戯機ヒューストンの2台同時運転回避やインバータ化を実施した。 ④川崎競馬場スタンド及び場内誘導灯の随時LED化やスタンド空調用吸収式冷凍機を高効率タイプに更新した。
	第3年度	①遊園地事務所及びゴルフ練習場事務所の蛍光灯が切れた場所から随時電球替え不要のLED照明にを更新した。 ②会議室や倉庫等を中心に使用していない時間の空調や照明の消灯を徹底した。 ③遊戯機ヒューストンの2台同時運転回避。 ④川崎競馬場スタンド及び場内誘導灯の随時LED化やスタンド空調用吸収式冷凍機の第2期工事を実施した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①廃棄物の減量化及び分別化の推進 ②グリーン購入の推進
第1年度	①環境省作成のポスターを掲示し廃棄物の減量化及び分別化の推進を行った。 ②環境省作成のポスターを掲示しグリーン購入の推進を行った。
第2年度	①環境省作成のポスターを掲示し廃棄物の減量化及び分別化の更なる推進を行った。 (声掛け等のより、意識向上を図った。) ②環境省作成のポスターを掲示しグリーン購入の推進を行った。 ③バイオマス燃料導入に向けた施設見学の実施。
第3年度	①環境省作成のポスターを掲示し廃棄物の減量化及び分別化の推進を行った。 (昨年度同様に、声掛け等のより、意識向上を図った。) ②環境省作成のポスターを掲示しグリーン購入の推進を行った。 ③エコイベント見学の実施。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	6,303	t-CO ₂
(調)	6,162	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
遊園地	川崎市多摩区菅仙谷 4-1-1	8043	遊園地の経営	2,658 t-CO ₂
川崎競馬場	川崎市川崎区富士見 1-6-1	8032	競馬場の施設運営	2,043 t-CO ₂
プール	川崎市多摩区菅仙谷 4-1-1	8043	プールの運営	1,510 t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	3

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--